

OL Summary: **I.** 「エホバに信頼し、その信頼がエホバである者は幸いである。彼は水のほとりに移植された木のように、その根を川のそばに伸ばし、暑さが来ても恐れない。その葉は茂ったままで、干ばつの年にも心配することなく、実を結ぶことをやめない」(エレミヤ17:7-8) **A.** これらの節は、神に信頼して物質の祝福を受けるという浅薄な事柄と関係があるものではありません。実は、これらの節は、神の分与によって完成される神のエコノミーを言っています。神に信頼する者は、水のほとりに移植された木のものであるということです。これは、神が生ける水の源泉であることを表徴しています。私たちは、神に信頼するだけではありません。神ご自身が、神に対する私たちの信頼でもあります。 **B.** 「私は植え、アポロは水を注ぎました。しかし、神が成長させてくださったのです」(1コリント3:6)。水を注ぐことは、木が吸収するためです。そして吸収することは、神の分与を受けることです。命の成長が欠けているところでは、信者のクリスチャン生活は混乱し、召会生活は損なわれ、からだの生活は破壊されます。/私たちは…神を吸収して、下に根を張り、上に向かって実を結ぶ必要があります。私たちは神との隠された交わりの時間を持つ必要があります。クリスチャンが力づけられ、照らされ、安息を享受し、歓喜し、信じ、問題を解決し、試みや誘惑や困難に打ち勝ち、慰められることは、祈りと神の言葉を通して神とのひそかな交わりを持つことに、すべてかかっています。 **II.** エレミヤ17:19~27には、神の安息日を守ることについての言葉があります。神の安息日を守る道は、彼を享受し、彼において安息し、生ける水の源泉としての彼において満足することです。 **A.** 神の住まいの建造に関する長い記載の後、出エジプト31:12~17では、安息日を守る戒めが繰り返されています。コロサイ2:16~17とマタイ11:28~30によれば、キリストは安息日の安息の実際です。神が第七日に安息したのは、神がご自身の働きを終えて、満足したからです。神の栄光が現されたのは、人が神のかたちを持ち、神の権威が神の敵サタンを征服するために行使されようとしていたからです。人が神を表現し、神の敵を対処しさえすれば、神は満足しており、また安息することができます。/人が創造されたのは、まず働くためではなく、神をもって満足し、神と共に安息するためでした。神にとって、それは働いて安息する事柄です。しかし、人にとって、それは安息して働く事柄です。ペンテコステの日に、弟子たちはその霊で満たされました。それが意味する事は、彼らが天のぶどう酒としてのキリストの享受で満たされたということです。 **B.** 神の民としての私たちが帯びなければならないしるしとは、私たちが神と共に安息しており、神を享受しており、まず神で満たされているということです。それから、私たちが満たしている方と共に、私たちは働きます。さらにまた、私たちは、神と共に働くだけでなく、神と一であることによって働き、働くための力また労苦するための活力としての神を持ちます。 **C.** 召会生活の中で、私たちは多くの事柄を行なうかもしれませんが、最初に主を享受しておらず、また主と一になることによって主に仕えることをしていないかもしれません。このような奉仕は、霊的な死という結果になり、またからだの交わりを失うという結果になります。 **D.** 召会を建造する主の働きは、神に対する享受をもって始まるべきです。

III. エレミヤ書は全聖書の要約です。エレミヤの預言が示している事は、キリストだけが神のエコノミーを成就することができ、キリストだけが神のエコノミーにおける神の要求に対する答えであるということです。エレミヤによって描写された絵は、私たちが無であることと、キリストが私たちにとってすべてであることを示しています。 **A.** エレミヤが語っているのは、キリストが神のエコノミーを完成することにおいて、私たちの義と私たちの贖いであるということと、神が生ける水の源泉であるということと、キリストが私たちの食物であるということと、キリストが新しい契約とそのすべての祝福の実際であるということです。一方において、新しい契約は、神のエコノミーと同義語であり、神のエコノミーの内容また実質であると言ってよいでしょう。/他方において、新しい契約は、神がご自身のエコノミーを成就する、あるいは完成する道であると言ってよいでしょう。 **B.** キリストは、新しい遺言(新しい契約)の実際、神であるすべてと神が私たちに与えてくださったすべてとの実際です。ですから、キリストが新しい契約です。遺贈は多くありますが、これら多くの遺贈すべては、実はひとりのパーソン、霊なるキリストです。/私たちは、私たちの先祖たちが行った太古の径を歩んで、神のエコノミーを中心とする新しい契約の道、命へもたらす道を歩む必要があります。迂回路は、サタンの計略の道であって、彼の巧妙な戦略にしたがって破壊へもたらします。迂回路を歩むことは、下に向かって行くことですが、太古の径を歩むことは、…上に向かって行くことです。/新しい契約、永遠の契約において、神は私たちに一つの心と一つの道を与えてくださいます。一つの心とは、神を愛し、神を尋ね求め、神を生き、神で構成されている心であり、それは私たちが神の表現とならせます。一つの道とは、内なる命の法則とその神聖な能力としての三一の神ご自身です。この一つの心と一つの道が、一つ思いです。 **C.** キリストは天の御座に座している昇天した方であり、彼が遺言として私たちに遺贈した新しい契約を今や執行しており、私たちのためにとりなし、私たちに供給しています。それは私たちが、新しい遺言の中に含まれているすべての遺贈を認識し、経験し、享受するためです。新しい遺言、新しい契約、遺言書は、キリストの死によってすでに有効なものになりました。そして、復活と昇天のキリストによって執行され、履行されつつあります。 **D.** もし私たちが、新しい契約の中のすべての祝福の適用を受けようとするなら、キリストの天の務めに応答する者となる必要があります。何世紀にもわたってキリストは、彼の天の務めに応答する一群れの人々を得ようと試みてきましたが、十分には成功しませんでした。/主のあわれみと恵みによって、今日、地上には、キリストの天の務めに応答する主の回復の中の一群体の人々がいます。/御父はすべての事を約束し、主イエスはすべての事を達成しました。今や、達成されたすべての事実は、遺言書の中に挙げられており、私たちの遺贈となっています。/もし私たちが新しい遺言についての天的な見方を持つなら、私たちの観念は変えられ、私たちは徹底的な大変革を持ち、私たちは我を忘れて主を賛美します。 **E.** エレミヤ31:31~34にあるこの新しい契約の中には、召会、神の王国、神の家族、私たちの霊の中にある神の住まいとしての神の家、新しい人、手順を経て究極的に完成された三一の神の豊満としてのキリストのからだがあることを、私たちは見ます。

CP1:内側の命を成長させるために、

①召会の集会に行き霊を活用し、②主との個人的で親密な交わりを持ち、③主と一つになり、主のために働く

OL1:「エホバに信頼し、その信頼がエホバである者は幸いである。彼は水のほとりに移植された木のようになり、その根を川のそばに伸ばし、暑さが来ても恐れぬ。その葉は茂ったままで、干ばつの年にも心配することはなく、実を結ぶことをやめない」(エレミヤ 17:7~8)。

OL2:私たちは命において成長してキリストのからだを建造するために、神を吸収して、下に根を張り、上に向かって実を結ぶ必要があります。これが意味する事は、私たちは神との隠された交わりの時間を持つ必要があるということです。クリスチャンが力づけられ、照らされ、安息を享受し、歓喜し、信じ、問題を解決し、試みや誘惑や困難に打ち勝ち、慰められることは、祈りと神の言葉を通して神とのひそかな交わりを持つことに、すべてかかっています。

OL3:人が創造されたのは、まず働くためではなく、神をもって満足し、神と共に安息するためでした。神にとって、それは働いて安息する事柄です。しかし、人にとって、それは安息して働く事柄です。21-22 あなたがたの魂に気をつけよ、安息日に何の荷も負わないようにし、エルサレムの城門を通して何も持ち込まないようにせよ。また、安息日には、どの荷もあなたがたの家から運び出してはならない。何の仕事もしてはならない。私があなたがたの父祖に命じたように、安息日を聖別しなさい。

OL4:ペンテコステの日に、弟子たちはその霊で満たされました。それが意味する事は、彼らが天のぶどう酒としてのキリストの享受で満たされたということです。

ある地方の聖徒たちが命の成長に欠けているとしたら、正常な召会生活を持つことはできません。実は、召会の実際は彼らの間に存在しません。そうです。彼らは、名前は地方召会ですが、彼らには召会の実際がありません。召会は救われた人々の集まりとして存在しますが、それは命の成長において、またキリストの経験と享受において実際と考えることができません。さらに、命の成長が欠けているところでは、信者のクリスチャン生活は混乱し、召会生活は損なわれ、からだの生活は破壊されます。…彼らには命における正常な成長がなかったので、正常なクリスチャン生活、召会生活、からだの生活がありませんでした。

もし私たちが、どのように神と共に享受を持つか、どのように神ご自身を享受するかを知らないなら、私たちはどのように彼と共に働くかを知りません。…私たちは神と共に働き、そして自分自身の力によって神のために働かないという事柄を強調します。そうです。私たちは神と共に、また神によってさえ働くべきです。しかし…神と共に働くだけでは十分ではありません。私たちは神の働きにおいて神と一になる必要があります。これは、私たちが神を享受することを必要とします。

適用:新人及び青少年、大学生編

神のエコノミーは、神ご自身を人の中に分与して、人の享受、満足、喜び、安息とならせ、その後、神と一になって神のために働くことです。

内側の主の命を成長させるために、あなたは①召会の集会に来て霊を活用してください。②主との隠された

個人的な交わりを持って下さい。③主と一つになって主のために働いてください。これら三つはあなたが神のエコノミーの中で成長するための重要な秘訣です。

①集会に来て霊を活用する。詩73:16 私がこれを理解しようと考えたとき、私の目にそれはめんどろなことであった。17 私が神の聖なる所へと入り、彼らの最後に気づくまではそうであった。FN「神の聖なる所へと入り」: 悪しきものの繁栄に関する詩篇の作者の困惑に関する回答は、神の聖なる所で得られました。第一に、神の聖なる所、神の住まいは、私たちの霊の中であり、第二にそれは、召会です。こうして、私たちは神の聖なる所へと行くために、私たちの霊に戻り、召会の集会に行く必要があります。いったん私たちが聖なる所「霊の中と召会の中」にいるなら、悪しきものに関する状況の別の見方、特別な了解を持つでしょう。

例えば、あなたは「自分にはキリストが内側におられるのに成績がぱっとしないが、未信者の人の方が、成績が良いのはどうしてだろう?」と思うかもしれませんが。あなたが召会の集会に来ると光があり、この質問に対する答えがあります。命の成長は徐々に起こりません。同様に、あなたの成績を上げるのも、急に上げることはできません。しかし、主の中で忍耐をもって勉強に取り組めば、必ず徐々に成績を上げることができます。あなたは焦らずに、また集会に行っていると勉強する時間が無くなると考えないで、召会の集会に行き、詩歌を大声で賛美し、享受してください。そして勉強の時は、勤勉に集中して主と共に励んでください。

②主との隠された個人的な交わり:

例えば、内側が友人との人間関係の悩みで満たされています。このような時、主と個人的に開いて正直に交わって、「主よ、私は悩んでいます。しかし、暗闇の中に留まり続けることはできません。暗闇から私を救ってください。この心配事を主に投げかけます」と祈ってください。そうすれば、主はあなたを照らして下さったり、励まして下さったりすることができます。照らされたら、自分の罪を告白してください、また励まされたなら、主に信頼して力強く前進してください。

③主と一つになり、主のために働く:もし私たちが、どのように神ご自身を享受し、どのように神で満たされるかを知らないなら、私たちはどのように神と共に働いて、神の神聖な働きにおいて神と一になるかを知らないのです。人は、神がご自身の働きにおいて成就したものを享受するのです。

教会生活の福音の枠組みを実行する時、召会は必ず30分(少なくとも15分)間、御言葉やアウトラインなどを祈り読みし、主を享受し、聖霊で満たされてから福音のために出て行くようにしています。そうしなければ、主と一つになり、主のために働くことはできません。

祈り:「おお主イエスよ、神のエコノミーは、神ご自身を人の中に分与して、人の享受、満足、喜び、安息とならせることです。私は召会の集会に来て、兄弟姉妹と共に霊を活用して主を享受します。そして個人的にも、主の名を呼び主と親密な交わりを持ち、隠れたところで根を張り、主を吸収します。主を存分に享受した後、主と一つになり、主の証しのために勉強して成績を徐々に上げることができますように。アーメン!」

**CP2:神と共に安息し、神を享受し、神で満たされ、
神と一つになり、神を活力として、神のために働く**

OL1:神の民としての私たちが帯びなければならないしるしとは、私たちが神と共に安息しており、神を享受しており、まず神で満たされているということです。それから、私たちが満たしている方と共に、私たちは働きます。さらにまた、私たちは、神と共に働くだけでなく、神と一であることによって働き、働くための力また労苦するための活力としての神を持ちます。**出31:13** あなたがたは必ず私の安息日を守らなければならない。それは、あなたがたの代々にわたる、私とあなたがたとの間のしるしであって、私があなたがたを聖別するエホバであることを、あなたがたが知るためである。**OL2:**私たちは、私たちの先祖たちが行った太古の徑を歩んで、神のエコミーを中心とする新しい契約の道、すなわち、命へもたらす道を歩む必要があります。迂回路は、サタンの計略の道であって、彼の巧妙な戦略にしたがって破壊へともたらします。迂回路を歩むことは、下に向かって行くことですが、太古の徑を歩むこと、すなわち、築かれている道を歩むことは、上に向かって行くことです。

エレミヤ18:15 しかし、私の民は私を忘れた。彼らは空しいものに香をたき、自分たちの道、太古の徑でつまずき、迂回路に、まだ築かれていない道に歩み、

神はこう言っておられたかのようです、「私の安息日を忘れてはならない。…私の神聖な働き、幕屋を建造する働きを行なうことでさえ、あなたはなおもしるしを帯びて、あなたが私の民であり、私を必要としていることを示さなければならない。それゆえ、あなたはまず私を享受する必要がある。そうすれば、あなたは私のためだけでなく、私と共に、私と一であることによって働くことができる。私はあなたの働くための力また労苦するための活力となる。しかし、もしあなたが自分自身の中で、自分自身によって働くなら、それは私に対する侮辱となる。あなたは私の住まいを建造する働きを、私と共に、私によって、私との一の中で行なわなければならない。あなたがこのように働くなら、私はとても幸いである。…あなたは私の民であり、しるしを帯びているべきであって、私があなたの享受、力、活力となることをあなたは必要とする。あなたは、私があなたのすべてであることを必要とする。それは、あなたが私のために働くことができるためである。このように働くことによって、あなたは私を尊び、私の栄光を現す。これは、あなたが私の民であることを示すしるしを帯びることである」。

私が毎回、立ち上がって御言を供給するとき、私の唯一の祈りは、私の語りかけの中で私が主と一であるようにということであると、私は証しすることができます。私は繰り返し祈ります、「主よ、私は語る中で、あなたと一つ霊であることを実行したいのです。それは、私の語るあなたが語るのではありません。もしあなたが私と一でないなら、私は何も語りません。私は決して自分の空虚な自己の中で語りません。それはあなたに対する冒とくであり、あなたに対する侮辱です。主よ、私はあなたと共に語るだけでなく、あなたと一であることによって語ります」。

適用:奉仕者編

新契約の奉仕者であるあなたは、預言者でもありま

す。預言者は神の言葉を尊び、尋ね求め、語ります。「もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたは私の口のようになる」(エレミヤ15:19)。神の言葉は、神の思想、神のみこころ、神の心の願い、神の大いなる喜びの表現です。私たちは神の言葉を取り入れ、受け取り、守るために、絶対的に神と一になり、彼に信頼し、彼に依り頼み、自己から出てくる何の意見も持たないようにしなければなりません。私たちは主の言葉を地上のすべての富よりも尊ばなければなりません。それは、私たちが神の託宣を語って、キリストの計り知れない豊富を神のさまざまな恵みとして、すべての聖徒たちに分与することができるためです。

毎週の主日集会の預言において、神の言葉を語ることを訓練してください。日本人が英語を話すためには訓練と学びが必要なように、神の言葉を語ることも訓練と学びが必須です。訓練すれば必ず少しずつ上達しますが、しなければ何の進歩も見込めません。毎日、享受した要点をチェックして、土曜日にまとめて、主日に即時的な靈感を加えて、自分の霊を活用して、神と一つの感覚の中で預言してください。あなたがこの訓練と学びを、毎週、忠信に実行できますように。

1コリント14:23 こういうわけで、召会全体が一つ所に集まり、…**24**…全員が預言している所へ、未信者…が入ってくると、彼はすべての者によって良心が責められ、すべての者によって調べられ、…**31**なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。

また、あなたは福音の労苦する祭司です。**ローマ15:16** それは、私が異邦人へのキリスト・イエスの奉仕者となり、神の福音の労苦する祭司となるためであって、ささげ物である異邦人が聖霊の中で聖別されて、受け入れられるためです。決して容易な、下って行く道を取ってはいけません。例えば、毎週、福音と牧養のために祈って、出て行く(ネット上の接触を含む)ことは労苦です。しかし、労苦することによってのみ残る実を結ぶことができます。毎週忠信に福音と牧養を実行すれば、海辺の人に出会ったり、追い求めるクリスチャンに出会ったり、苦しんでいる福音友人に出会ったりして、残る実を結ぶきっかけを作ることができます。

神戸に在る召会は20%成長の上方修正した目標「**主日集会の目標:目標/基数、187/156、本山40/30、本山青少年24.5/21.5、魚崎30/25、夙川27/26、六甲31.5/27.5、三宮19/12、神戸15/14**」を立てました。各地区は、自分たちのバイタルグループ(VG)に目標をブレイクダウンして、それぞれのVGの目標も設定してください。そして、召会全体・地区・VGの目標に到達するため、神を享受、力、活力として、一つ思いをもって祈り行動してください。祈り:「おお主イエスよ、神と共に安息し、神を享受し、神で満たされますように。それは私が神の民として帯びるべきしるしを持つためです。しかし、もし私が自分自身の中で、自分自身によって働くなら、それは神に対する侮辱となります。主の中で安息し、主と一となり、神の言葉を語り出し、新人に供給することを学びます。神を享受、力、活力とし、兄弟姉妹と取り組んで私の地区またVGの目標に向けて祈り、行動することができますように。アーメン!」

CP3: 主の血を取り、信仰の霊を用いて、恵みの御座に進み出て、時機を得た助けとなる恵みを楽しむ

OL1:新しい契約、永遠の契約において、神は私たちに一つの心と一つの道を与えてくださいます。一つの心とは、神を愛し、神を尋ね求め、神を生き、神で構成されている心であり、それは私たちが神の表現とならせます。一つの道とは、内なる命の法則とその神聖な能力としての三一の神ご自身です。この一つの心と一つの道が、一つ思いです。**エレミヤ 31:33-34** しかし...契約はこれである...私は私の律法を彼らの内なる各部分に置き、それを彼らの心に書き記す。私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。...彼らのうちの小さな者から彼らのうちの大きな者まで、彼らはみな私を知るようになるからであると、エホバは告げられる。まことに、私は彼らの罪科を赦し、もはや彼らの罪を思い出さないからである。**OL2:**キリストは天の御座に座している昇天した方であり、彼が遺言として私たちに遺贈した新しい契約を今や執行しており、私たちのためにとりなし、私たちに供給しています。それは私たちが、新しい遺言の中に含まれているすべての遺贈を認識し、経験し、享受するためです。**OL3:**新しい遺言、新しい契約、遺言書は、キリストの死によってすでに有効なものになりました。そして、復活と昇天のキリストによって執行され、履行されつつあります。**OL4:**もし私たちが、新しい契約の中のすべての祝福の適用を受けようとするなら、キリストの天の務めに応答する者となる必要があります。**OL5:**何世紀にもわたってキリストは、彼の天の務めに応答する一群れの人々を得ようと試みてきましたが、十分には成功しませんでした。主のあわれみと恵みによって、今日、地上には、キリストの天の務めに応答する主の回復の中の一群体の人々がいます。

エレミヤ 31 章で、エレミヤは新しい契約の基礎を据え、次のことを予言しました。神が彼の律法を私たちの内側に置かれること、彼が彼の律法を私たちの思いの中へと書き記して、私たちが神を知ることができるようにすること、神が私たちの神となり、私たちが彼の民となること、私たちがだれにも教えてもらう必要がないこと、それは私たちがみな内側に教える命を持つからであること、神が私たちの罪科を赦し、もはや私たちの罪を思い出さないことです。新しい契約において私たちは、内なる命の法則を享受します。この命の法則は私たちに、神のパーソンと神聖な命の神聖な能力をもたらします。それは神のためにあらゆることを達成し、彼のエコノミーを完成することができます。内なる命の法則によって、私たちは能力を持って神を知り、神を生き、さらには神の命と性質において神で構成され、彼の団体的な表現となります。

私たちの霊は天の至聖所に結合されています。私たちは霊に戻り、霊を活用する時、幕の内側に入ります。ここで私たちは、天のキリストの天の務めにあずかります。ここで私たちは、すべての神聖な豊富で飽和され、浸透され、それは私たちが、神の表現のための神の長子の団体的な複製とします。ここで私たちは恵みを受け、力づけられて、営所の外に出て行き、十字架の道を主に従って行きます。

適用: ビジネスパーソン及び大学院生編

ビジネスパーソンは、同僚との競争に巻き込まれた

り、上司から厳しい目標を立てられたりして、とても大変な状況にあります。このような圧迫のある状況は、実は新約の遺贈を経験する良い機会です。

ヘブル 4:16 ですから、私たちがあわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを見いだすために、大胆に、恵みの御座に進み出ようではありませんか。

7:25 彼を通して神に進み出る者たちを、彼は極みまで救うことができますのです。なぜなら、彼はいつも生きていて、彼らのためにとりなしておられるからです。

例えば、ビジネス上、洞察力、物事の内在的な認識、決断力、実行力が求められます。しかし、人はこれらの能力を欲しますが、人にはこれらの能力がないのです。実際に決断しなければならない時でも、なかなか決定できません。それは、物事の内在的な認識と洞察力に欠けているので、全体像を把握できていないからです。しかし、ハレルヤ、主を賛美します。主イエスご自身は、これらの能力の実際です。あなたは信仰の霊を用いて、恵みの御座に進み出てください。そうすれば主は、時機を得た助け(timely help)となる恵みを与えて下さいます。この恵みの中には、上記の能力の全てが含まれています。あなたは主の血を適用し、大胆に御前に進み出て、時機を得た助けとなる恵みを楽しんでください。そうすれば、主はあなたを極みまで救うことができます。

ヘブル 10:19 兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、大胆に至聖所へ入ります。

もしあなたが新しい遺言についての天的な見方を持つなら、観念は変えられ、あなたは徹底的な大変革を持ち、我を忘れて主を賛美するでしょう。どうか主があなたを憐れんでくださり、新契約の素晴らしい祝福を見えるようにして下さいますように。

更にあなたは自分のビジネスだけでなく、神の必要を顧みてください。コロナウイルスが世界中で流行する(青白い馬が走る)時、地方召会は福音の白い馬を加速させるという神のみこころを遂行するべきです。キリストの天の務めに応答して、地方召会は福音のために祈り、福音を実行する必要があります。

地方召会にとって最も大切な三つのことは、**①**一つ思いを持つこと、**②**全員が成長すること、**③**全員が機能することです。**エペソ 4:15** むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。**16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

新契約の遺贈を享受すれば、一つ思いを持つことができ、かしらであるキリストの中へと成長することができます。キリストのからだを建造するために機能することができます。

祈り:「おお主イエスよ、復活し昇天したキリストは、私たちに遺贈した新しい契約を執行するために、私のためにとりなして下さっています。ですから私は今、新しい遺言の中に含まれているすべての遺贈を認識し、経験し、享受することができます。ビジネス上必要な、洞察力、物事の内在的な認識、決断力、実行力などは、全てこの遺贈の中の恵みに含まれています。恵みの御座に進み出る時に、時機を得た助けとなる恵みにあずかります」。